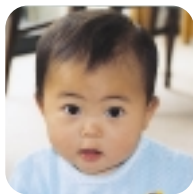




越地 崇裕ちゃん

浜田町、越地真吾・秀子さんの長男＝1歳



大澤 彩花ちゃん

門沢橋、大澤英和・由美子さんの長女＝1歳



青木 優佳ちゃん

河原口、青木孝司・陽子さんの長女＝1歳



藤田 美優ちゃん

東柏ケ谷、藤田幸児・文子さんの長女＝1歳



藤澤 舞子ちゃん

杉久保、藤澤一人・江美子さんの長女＝1歳



東郷 寿日太ちゃん

大谷、東郷満明・秀子さんの長男＝1歳



宮本 大輝ちゃん

大谷、宮本貴久・規恵さんの長男＝1歳



佐藤 優次ちゃん

下今泉、佐藤昇一・美香さんの2男＝1歳

まんまるおぼちゃん

このコーナーに掲載を希望する方は電話で広報広聴課へ。対象は、申込時点で満9カ月未満の赤ちゃんに限りますので、お早めにどうぞ。応募多数の場合は抽選のうえ掲載します。



▲園児の力作 勢ぞろい

5月14日から18日まで、「海老名市保育園児絵画展」が市役所で開催。たちばな保育園の園児30人が来庁し、自分の作品を見つけ歓声をあげていました。

フォトピククス

▶汗流し深まる親ぼく

5月19日、「海老名市老人クラブ連合会運動会」が市役所西側催事広場で行われました。500人を超える参加者は競技を楽しみながら親ぼくを深めました。(撮影 広報まちかどカメラマン・王子秀男)



みなさんからの作品 海老名の春風景 〔▽場所 海老名中学校前 ▽撮影日 3月27日 ▽望地在住 金川一夫さん撮影〕



▲交通安全の願い込め

5月19日、海老名ライオンズクラブが、交通事故防止にと市内997カ所のカーブミラーの清掃・破損状況調査を行いました。



▶もぎたて新鮮トマトに笑顔

5月19日、大谷地区の温室でトマトのもぎ取りが行われました。来場者は、新鮮なトマトを前に笑顔が絶えませんでした。(撮影 広報まちかどカメラマン・諏訪洋子)

楽しい仲間

「椿地蔵の話知っているよ」写真撮影に協力してくれた杉久保小児童に聞くと「うん」という返事。さらに、「蕾が赤くなったのは私たちみ

編集後記

んなの気持ち(娘に)伝わったからかも」という感想が。さすが杉久保の子供たち！優しさは、いまだ健在。(ま)

が会場を埋め尽くしました。作品はどれも秀逸で、中には「趣味の写真教室」に入るまでカメラに触ったこともなかったというのが信じられないほどの出来映えに、来場者が驚くシーンも。OB会はそれぞれ定期的に撮影会や合評会を行っており、独自に写真展を実施していますが、このようにOB会が一堂に集まって行う写真展では、普段見ることが出来ない他の会の作品に刺激を受けることもあり、技術の向上にもつながっていくようです。「花鳥風月(自然界の景観)」を対象にした写真もあれば人々の自然な表情を撮ったスナップもあります。我々高齢者の人生を反映させる写真を撮ることが大切だと思っています」と小野田さん。さらに「近いうちに、協議会で観光バスを借り上げて撮影ツアーを実現したいと思っています。趣味を究めて「生きがいに」高めた写真教室のOBは、今日もカメラを片手に被写体を探しています。



会場に集まったメンバー

高齢者いきいき写真展を開催 趣味の写真教室 OB連絡協議会

今回で8回目となる同展では、8団体91人の参加があり、「光」、「家族」、「春」などをテーマにした91枚の作品が展示された。今年も市民ギャラリーを会場に5月15日から20日まで「高齢者いきいき写真展」を開催しました。今回で8回目となる同展では、8団体91人の参加があり、「光」、「家族」、「春」などをテーマにした91枚の作品が展示された。今年も市民ギャラリーを会場に5月15日から20日まで「高齢者いきいき写真展」を開催しました。



来場者に説明する小野田さん(左)

人生を反映させる写真を

「技法の向上はもちろんですが、何よりも仲間との交流を大切にしています」と話すのは、趣味の写真教室OB連絡協議会の会長を務め、片時もカメラを手放すことがないという小野田留蔵さん(柏ヶ谷在住 82歳)。趣味の写真教室OB連絡協議会とは、市が実施している高齢者対象の「趣味の写真教室」終了後、参加者の連帯や技術向上を目標に、多くの参加者が実施年度ごとに作るOB会をとりまとめている組織です。今年も市民ギャラリーを会場に5月15日から20日まで「高齢者いきいき写真展」を開催しました。